

令和 7 年度全国学力・学習状況調査 四街道市内中学校結果概要について（お知らせ）

過日、実施されました全国学力・学習状況調査の結果について、四街道市内中学校の概要をお知らせいたします。

市教育委員会及び各学校は、この調査結果の分析をもとに、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に向けて取り組んでまいります。

なお、生徒質問紙、教科に関する調査の詳細な資料等は、市のホームページ上に掲載いたします。

※市ホームページURL：



1 実施日・実施教科・対象学年

実施日：令和 7 年 4 月 1 7 日（木）、（理科）4 月 1 4 日～1 7 日のうち 1 日

実施教科：国語、数学、理科（C B T 方式）

※C B T 方式…一人一台端末を使ってオンラインで試験を行う方式

対象：中学校 3 年生

※文部科学省ホームページURL：

「中学校理科」IRT を用いた結果返却について



2 評価について

教科に関する調査について平均正答率、質問紙調査については生徒の回答の割合を用いて、以下の基準で評価いたしました。

【正答数及び回答の割合】

・ 8 0 % 以上～

・ 6 0 % 以上～8 0 % 未満

・ ～6 0 % 未満

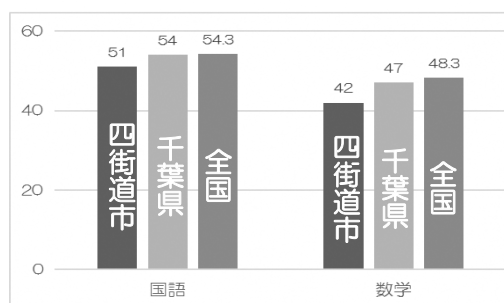
得意である、身に付いている、高い傾向にある

概ね身に付いている、概ね理解している

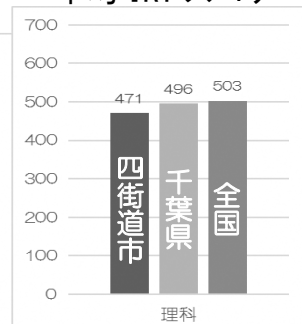
課題がある、低い傾向にある

3 教科に関する調査の結果概要

平均正答率



平均 IRT スコア



国語	○平均正答率で見ると、低い傾向にあります。 ○特に記述式の問題について、課題があります。
数学	○平均正答率で見ると、低い傾向にあります。 ○すべての領域で課題があり、特に「数と式」「図形」の領域が低い傾向にあります。
理科	○500を基準とする平均IRTスコアでは、471でした。 ○すべての領域で課題があり、特に「地球」を柱とする領域が低い傾向にあります。

※IRTスコア…「項目反応理論」という学力測定の方法に基づいて、各設問の正誤パターンから学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。

【授業改善に向けて】

〈国語〉根拠を明確にして自分の意見を相手により分かりやすく伝える力や、読み手の立場になって文章を整える力等を養う活動を充実させてまいります。

〈数学〉全領域において、具体物や図を活用したり、一人ひとりの理解度に応じた支援をしたり知識・技能の定着に向けた取組を行ってまいります。

〈理科〉身近な疑問や興味から学習課題を見つけさせるなど、生徒の主体的な学習につなげることができるよう課題解決型の授業を展開してまいります。

4 生徒質問紙調査の結果概要

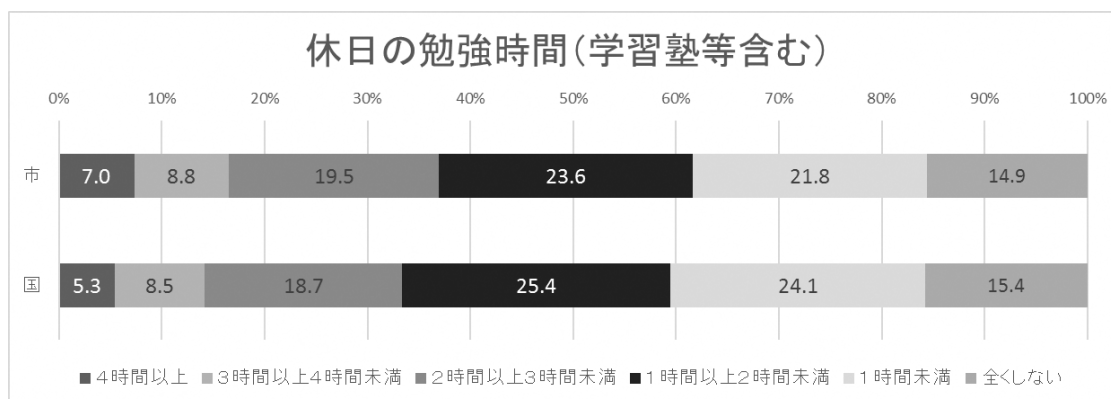
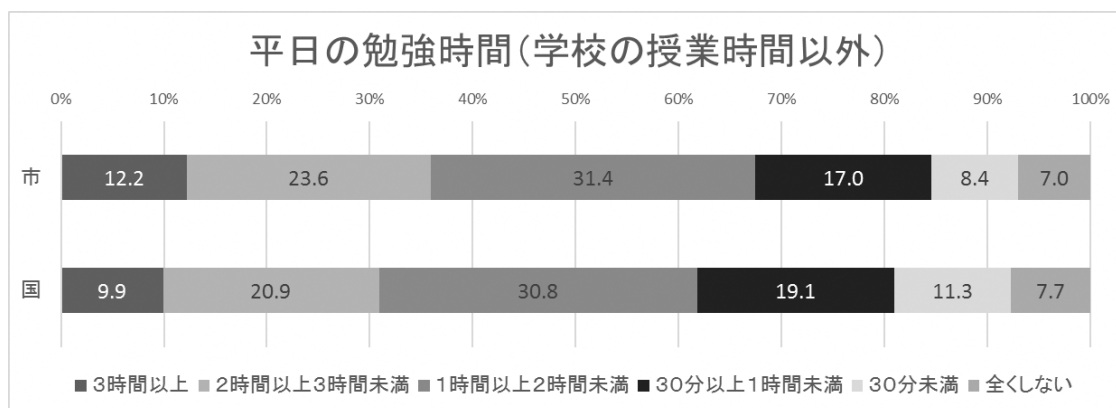
（1）学習に対する興味・関心等



・国語の勉強が好きと回答している生徒の割合は6割を超えています。

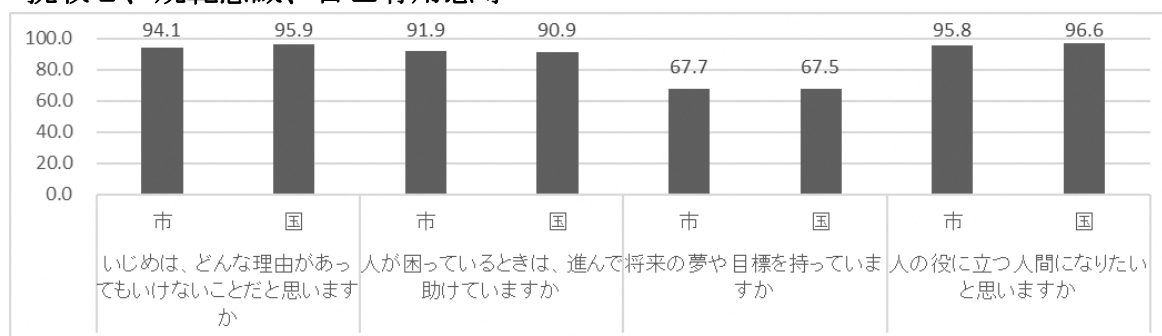
・数学と理科の勉強が好きと回答している生徒の割合は低い傾向にあります。

(2) 学習習慣等



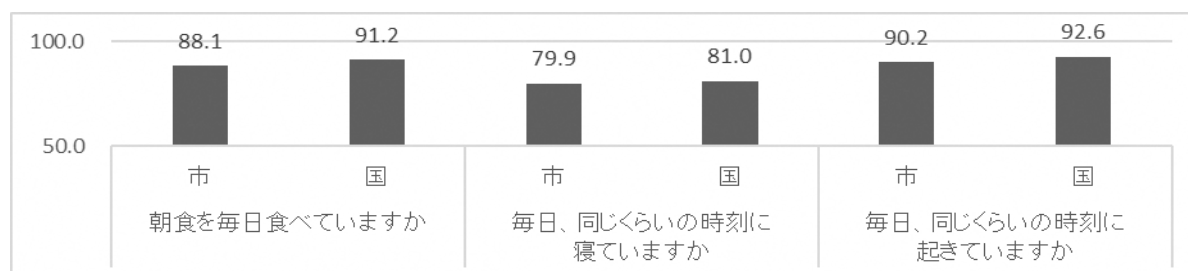
- ・平日は1時間以上、休日は2時間以上学習に取り組む生徒の割合が6割を超えており、概ね学習習慣が身に付いています。

(3) 挑戦心、規範意識、自己有用感等



- ・いずれも肯定的な回答の割合が高く、良好な状態にあります。
- ・「いじめはどんな理由があってもいけない」「人が困っているときは、進んで助けている」等の問いに対して、肯定的な回答の割合が高く、規範意識が身に付いています。
- ・人の役に立つ人間になりたいと考えている生徒の割合は、高い傾向にありますが、「将来の夢や目標を持っていますか」に対する肯定的な回答は、他の質問より低くなっています。多様な経験を積む、自分の生き方について考える等の機会の充実を図ってまいります。

(4) 基本的生活習慣等



- ・朝食の喫食状況、就寝、起床時間のいずれも肯定的な回答が高い傾向にあります。